

まつうら 農業委員会だより

第18号

平成30年7月1日発行

発行 松浦市農業委員会

編集 委員会だより編集委員会

TEL (0956) 72-1111

(内線232)

新しい農業委員・農地利用最適化推進委員を紹介します!



就任の挨拶

松浦市農業委員会 会長 山川重晴



本年4月から新体制に移行し、臨時総会において会長に就任いたしました。

これまで、農業委員会は37人の農業委員で組織されていましたが、農業委員19人と農地利用の最適化を推進するための農地利用最適化推進委員18人の新体制となります。

任意の業務となっておりました農地利用の最適化の推進が必須の業務となり、農家の高齢化や後継者不足が深刻になる中、農地の利用集積・集約化、遊休農地対策、農業への新規参入の促進など、農業委員会を挙げて取り組んでまいります。

新しい農業委員・農地利用最適化推進委員が決まりました! 担当地区は下記のとおりです。

※ は農業委員 は農地利用最適化推進委員

地域	農業委員名	担当区域	地域	農業委員名	担当区域	
御厨	山川 重晴	大崎上	調川	村田 勝美	平尾、下免、江口	
	梶山 達男	前田		吉永 守	上平尾、上免、中免	
	大久保 耕次	大崎下、小船		益本 徳市	松山田、白井	
	松田 実男	池田、駅通り、中野、寺ノ尾下、寺ノ尾中	今福	武部 文男	北東1、北東2、北東3、滑栄浜ノ脇、土肥ノ浦、羽古場、福德	
	安永 光男	西木場、川内		立山 義典	木場上、木場下、寺上、人柱	
	岩木 保徳	田代、板橋		崎田 隆	坂野、仏坂、浦、飛島	
	大久保 純三	木場		田中 晴美		
	松永 勝也	郭公尾、寺ノ尾上	福島	早坂 勇	喜内瀬	
藤川 吉生	牟田、北久保	松尾 奈津子		大山、白土、祝崎		
松瀬 義之	川原辺田、星鹿、下田、大石、青島	松尾 和広		伊万里釜、播磨釜		
柿山 享	西山、白浜、庄野	田中 康		浅谷		
大石 裕	浦、里、大浜	大川内 満舎信		原、土谷		
百枝 純治	柚木川内、稗木場	紙本 政信		里、鍋串		
鈴立 企一	田ノ平、横辺田	瀬川 伸清		里、中通		
上志佐	崎村 康子	笛吹	鷹島	川下 實	神崎、石川、日比	
	松永 敬資	長野		吉田 政明	阿翁、阿翁浦、黒島	
	吉原 順穂	池成、栢木、上野		北川 廣海	原、殿ノ浦	
	萩原 健詞	赤木、上高野、下高野		山本 鉄美	三里、船唐津	
	伊藤 薫			合計	農業委員 19 名 農地利用最適化推進委員 18 名	

※農業委員会は、「農地等の利用の最適化（担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）の推進」を中心に、農地法に基づく農地の売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申などを行っています。

新任委員からひと言

農業委員

伊藤 薫 委員



平成二十二年三月まで、農業委員会事務局職員として、今回の改選で農業委員としてお世話になることになりました。

これから三年間皆様のご協力を得て、しっかりと努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

柿山 享 委員



四月より、農業委員として就任いたしました。厳しい農業経営の中で、高齢化、担い手不足など、問題山積の中での農業委員は大変な仕事だと思います。地域の農業振興を図るために、農家の皆様と一緒に頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

田中 康 委員



松浦市福島町にUターンし二年の研修を経て就農し、アスパラガス栽培を始めて六年目になります。仕事もようやく回り始めたところですが、農業は奥深くまだまだ分からないことばかりです。

今回初の農業委員として若輩者ですが頑張つて勉強させていただきます。

吉原 順穂 委員



このたび、農業委員に任命された吉原です。その職責を強く受け止め行動をしていく覚悟です。農は国の宝、農地はその根幹を成すものです。しかしながら、農業者の高齢化・後継者不足などで荒廃農地が所々に見受けられ、それらが猪等害獣の住処となり、さらに農地荒廃に拍車をかけております。

意欲ある農業者に農地を集積し、その農地を最大限に活用して農業所得の向上を図っていただく、その橋渡しをさせていただきます。なお、農地利用最適化推進委員の萩原健詞氏の協力を得、池成・栢木・上野地区を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

益本 徳市 委員



認定農業者の枠の中から推薦を受け、今回、農業委員として仕事をすることになりました。ピカピカの一年生です。今まで二回の研修を受け、仕事の重要性和難しさを痛感しておりますが、先輩の知恵を借りながら、一歩一歩前進していければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

梶山 達男 委員



このたび、御厨地区内で農業委員として選ばれました。私は、若い頃はサラリーマンとして二十数年、農業を始めて今年で十年目になります。

御厨地区も遊休農地が多く、担い手の少ない状況で高齢化が進んでおります。これらのことが少しでも解消されるよう、新人ではありますが、頑張つてまいりますので、皆様のご指導よろしくお願いいたします。

田中 晴美 委員



縁あつて、再度農業委員会にお世話になることとなりました。
知力と体力の衰えを日々感じておりますが、新たな気持ちで精進してまいりますと思っております。

松永 敬資 委員



今年度より農業委員という大役を仰せつかり身の引き締まる思いの今日この頃です。二年半ほど前に退職し、小規模ながら繁殖農家として毎日を通っております。
これから、地域の皆様のお役にたてるよう、ご指導・ご協力を得ながら頑張りたいと思えます。

藤川 吉生 委員



現在の農家は少子高齢化で、後継者がいないのが現状です。
今回、農業委員という大役をお受けすることになりましたので、地域農業が少しでも元気になるよう地域の皆様のために精いっぱい努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

崎村 康子 委員



このたび、女性農業委員に就任いたしました。
現在、耕作を放棄された土地を農地中間管理事業を利用して自給飼料生産に励んでおります。
自身の経営にも地域の皆様のためにもなる事業を積極的に取り入れ学びながら、地域に恩返しできるように頑張りたいと思っております。
若輩者ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

農地利用最適化推進委員

大久保 耕次 委員



このたび、農地利用最適化推進委員として就任するにあたり責任の重さを痛感しているところで。
現在、松浦市においては、他の市町村と比べると農地に対して遊休農地は少ない模様ですが、これからが増えてくる傾向にあるかと思えます。私も農家の長男として父の後を継ぎ市内の企業に勤めながら稲作100aを現在も続けていますが、後継者がいない状況で大変危惧しています。
私は常々、農家の持っている文化や祭り、農業・農村の持つ役割、重要性を次代に伝えていかなければならないと思っております。先人達が築いてきた農地を守り続けていくには、私たちが知恵を出し合い農村環境の保全に努めなければならぬと思えます。
これを機に、農業委員・農地利用最適化推進委員の皆様にご指導を仰ぎながら勉強してまいります。

岩木 保徳 委員



このたび、松浦市農地利用最適化推進委員の委嘱を受けるに当たって、次のことを頑張っていきたいと思います。
「進」今年より来年と前進していきます。
「挑」挑戦を続けていきます。

「統」継続は力なり。継続力をもってやり抜きます。

「繋」地域全体に繋げ、よりよい町づくりに繋げていきます。

自分の故郷が荒れていく様は悲しいものです。基本的な「農地」を守り、生かし、後世に残していけるよう邁進いたします。

松永 勝也 委員



今回、農地利用最適化推進委員という重役をお受けすることになりました。農業人口の減少、担い手不足により農地は荒れてきています。農地法の制度や農地の効率的利用など、諸先輩の指導を受け頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

大石 裕 委員



志佐町里地区は、住宅が多い場所で、今後多くの住宅が建つことでしょう。
今後も農業を続けていくには、皆さんが周り気をしながらの農業経営ではないかと思えます。

鈴立 企一 委員



農業を取り巻く環境は厳しいものがあります。私の地区には若い後継者が見当たりません。後継者不足対策として、農地の集約化、集落営農など取り組んでいくべきことがたくさんあります。微力ではございますが、地域農業の活性化のお役に立てるよう頑張りたいと思っております。よろしくお願いたします。

百枝 純治 委員



このたび、農地利用最適化推進委員の一員として仕事をする事になりました。

よりよい農地の利用方法等、農業委員さんや地域の皆様、先輩諸氏の方々と意見を交し、務めを果たしていこうとおもいます。よろしくお願いたします。

萩原 健詞 委員



4月より農地利用最適化推進委員に選任されました。担当地区は赤木・上高野・下高野です。皆様のご指導をいただき、お役に立てるよう努力したいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

早坂 勇 委員



担当地区農地については、「農地利用最適化」を進める上で、地形的に農業者自身の高齢化、後継者不足など、色々難しい問題が関わっています。地区の皆さんとともに知恵を出し合い、そして協力を得て「農地利用最適化推進」の任に当たってまいりたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

松尾 和広 委員



このたび、農地利用最適化推進委員に選任されました。私の地区がほとんどが棚田です。しかし、ここ数年米作りをやめる人が出てきています。これから先も、後継者不足等でさらに増えると思われる問題を解決するよう努めていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

紙本 政信 委員



今回私は、農地利用最適化推進委員に選任されましたが、六十歳から、少しずつ野菜づくりを始め、二年しか経っていない私にとって、農地利用最適化推進委員など、とんでもない話でした。皆様のお役にたてるのか心配ですが、引き受けた以上は責任もありますので、何か一つでもお役に立てるように勉強したいと思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

やめよう！農地の無断転用



農地は国民の食料の生産の場であると同時に、自然浄化と環境の観点からも大切な財産です。次世代に優良な姿での大切な財産を継承しなければなりません。

農業委員会では、八月から十月にかけて農地パトロールを行い遊休農地の解消、違反転用防止等に取り組んでいます。なお、農地の貸付や譲渡を希望される場合は、地元農業委員または農業委員会事務局にご相談ください。



購読のご案内

全国農業新聞を購読してみませんか？

全国農業新聞は経営とくらしに役立つ農業総合専門紙として高い評価を受けています。

みなさんの購読のお申し込みをお待ちしております。

月4回金曜日発行

B3版十〜十四頁

購読料 月額 七百元

「送料、税込み」

お申し込みは、地元農業委員又は農業委員会事務局にお願いします。

電話 〇九五六〇七二一〇〇〇

(内線 一三三二)

この広報誌は、各支所・出張所ロビーに配付しているほか、松浦市公式ホームページでも閲覧できます。

http://www.city-matsura.jp/www/contents/1204876051777/index.html